古文ドリル：「ばや」「なむ」「がな」など願望表現 100 問

対象：高校生・大学受験生 **著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：願望表現の整理

古文の願望（〜したい／〜してほしい）を表す終助詞・連語：

形	接続	訳	主体
ばや	未然形	〜したい	自分（1人称）
なむ（他者願望）	未然形	〜してほしい	他人（2/3人称）
てしがな／にしがな	連用形	〜したい	自分（強い願望）
もがな／がな	体言・形容詞語幹	〜があればなあ	願望（存在）

識別の鉄則

1. **未然形＋「ばや」** → 自分の願望「〜したい」
2. **未然形＋「なむ」** → 他者への願望「〜してほしい」
3. **連用形＋「てしがな／にしがな」** → 自分の強い願望
4. **体言＋「もがな／がな」** → 物事の存在を願う

注意：「なむ」の混同

「なむ」には複数の用法あり：

用法	接続
願望（他者）「なむ」	未然形
完了「ぬ」未然＋推量「む」	連用形
係助詞「なむ」	強調

→ 直前の活用形で識別。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

> 「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
> こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「ばや」を見つけたら未然形チェックだけでOK

「ばや」は **ほぼ100%** 自分の願望「〜したい」。複数用法を悩む必要なし。 例：「行かばや」→ 即「行きたい」と訳す。

コツ② 「なむ」は直前の音で即判断

- 直前が **ア音（未然形っぽい音）** →「〜してほしい」（他者願望）
- 直前が **イ・ウ音（連用形っぽい音）** →「〜してしまうだろう」（完了＋推量）
- それ以外（体言・連体形・助詞の後）→ 係助詞（強調・訳さない）

例：「咲かなむ」→ ア音 →「咲いてほしい」／「咲きなむ」→ イ音 →「きっと咲くだろう」

コツ③ 「がな」「もがな」は前を見るだけ

- 前が **体言（名詞）** →「〜があればなあ」
- 前が **連用形** →「〜したい」（てしがな・にしがなの一部）

「てしがな」「にしがな」は丸ごと1セットで「〜したい」と覚える。分解しない。

コツ④ 文末の「ばや」「なむ」「がな」はほぼ願望系

願望の終助詞は **文末**（または句点の直前）に来る。文中にある「なむ」は係助詞の可能性が高い。
例：「世にあらなむ」（文末）→ 願望／「春なむ来たる」（文中）→ 係助詞。

試験本番でのチェック順序

1. 「ばや／なむ／がな／もがな／てしがな／にしがな」のどれかを特定
2. **直前の語**の活用形（未然か連用か体言か）を見る
3. 表に当てはめて訳を決定
4. 文末か文中かで係助詞「なむ」を除外

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「なむ」を見ると全部「〜してほしい」と訳す → 連用形接続は完了＋推量「きっと〜だろう」
- 「がな」を疑問「〜かな」と訳す → 古文の「がな」は願望のみ
- 「ばや」を仮定「〜ならば」と混同 →「ばや」は終助詞、文末に来る

採点表

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

【第1部】基礎編（Q1〜Q20）

Q1. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古典を学ば**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」　**解説**：「学ば」未然＋「ばや」。「古典を学びたい」。

Q2. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春の野花のいざ咲か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」　**解説**：「咲か」（四段「咲く」未然形）＋「なむ」。未然形＋「なむ」＝他者願望。「春の野花よ、さあ咲いてほしい」。

Q3. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 命の長き世**もがな**。

答え：願望「もがな」　**解説**：体言「世」＋「もがな」。「命の長い世があればなあ」。

Q4. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 我れも古典を究め**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」　**解説**：「究め」連用＋「てしがな」。「私も古典を究めたいなあ」。

Q5. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 我れ古典学ば**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「学ば」（四段「学ぶ」未然形）＋「ばや」。「私は古典を学びたい」。自己の動作に対する願望。

Q6. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君も来**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「来（こ）」未然＋「なむ」。「君も来てほしい」。

Q7. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 君が代千代**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「千代」＋「もがな」。「千代もあればなあ」。古今集の歌より。

Q8. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 仏に祈ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「祈ら」未然＋「ばや」。「仏に祈りたい」。

Q9. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 心安く生き**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「生き」連用＋「てしがな」。「心安く生きたいなあ」。

Q10. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 月見**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「見」未然＋「ばや」。「月を見たい」。

Q11. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月隠れ**なむ**。

答え：(識別注意) 願望「なむ」 or 完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「隠れ」未然なら願望、連用なら完了。下二段「隠る」の未然・連用は「隠れ」で同形。文脈で判断。「月が隠れてほしい」(願望) or「月が隠れるだろう」(完了未然＋推量)。

Q12. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心ある友**もがな**。

答え：願望「もがな」(存在願望) **解説**：体言「友」＋「もがな」。「心ある友があればなあ」。体言＋もがなの典型。

Q13. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古き友、見**ばや**。

答え：願望（自己)「ばや」 **解説**：「見」未然＋「ばや」。「古き友を見たい」。

Q14. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典を究め**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「究め」連用＋「てしがな」。「古典を究めたいなあ」。

Q15. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 我れ静かに眠ら**ばや**。

答え：願望（自己)「ばや」 **解説**：「眠ら」(四段「眠る」未然形) ＋「ばや」。「私は静かに眠りたい」。自己の動作に対する願望。

Q16. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春雨降ら**なむ**。

答え：願望（他者)「なむ」 **解説**：「降ら」未然＋「なむ」。「春雨が降ってほしい」。

Q17. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心ある人**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「人」＋「もがな」。「心ある人があればなあ／いればなあ」。

Q18. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 心通は**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「通は」未然＋「ばや」。「心が通ったらいいな」。

Q19. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典の道を歩み**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「歩み」連用＋「てしがな」。「古典の道を歩みたいなあ」。

Q20. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 雪の白さ**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「白さ」＋「もがな」。「雪の白さがあればなあ」。

基礎編　／20

【第2部】標準編（Q21〜Q50）

Q21. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 都を見**ばや**と思ふ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「見」未然＋「ばや」。「都を見たいと思う」。

Q22. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨止ま**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「止ま」未然＋「なむ」。「雨が止んでほしい」。

Q23. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 花散り**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「散り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了「ぬ」未然「な」＋推量「む」。「花が散ってしまうだろう」。

Q24. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 老いせぬ世**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「世」＋「もがな」。「老いない世があればなあ」。古今集風の存在願望。

Q25. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 帝に仕へ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「仕へ」連用＋「てしがな」。「帝にお仕えしたいなあ」。

Q26. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 経を読ま**ばや**と思ひて。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「読ま」未然＋「ばや」。「お経を読みたい」。

Q27. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 鳥啼か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「啼か」未然＋「なむ」。「鳥が鳴いてほしい」。

Q28. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 古き友**がな**。

答え：願望「がな」 **解説**：体言「友」＋「がな」（もがなの「も」省略形）。「古い友があればなあ」。

Q29. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 旅に出で**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「出で」（下二段「出づ」未然）＋「ばや」。「旅に出たい」。

Q30. 次の傍線部「にしがな」を識別せよ。

> 古き世を見**にしがな**。

答え：自己強願望「にしがな」 **解説**：「見」連用＋「にしがな」。「てしがな」とほぼ同義。「古き世を見たいなあ」。

Q31. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風和らが**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「和らが」（四段「和らぐ」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「風が和らいでほしい」。

Q32. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 心を尽くさ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「尽くさ」未然＋「ばや」。「心を尽くしたい」。

Q33. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いつしか春**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「春」＋「もがな」。「早く春があればなあ」。

Q34. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 都に住み**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「住み」連用＋「てしがな」。「都に住みたいなあ」。

Q35. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨降り**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「降り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了＋推量。「雨が降ってしまうだろう」。

Q36. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 人にも告げ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「告げ」（下二段未然）＋「ばや」。「人にも告げたい」。

Q37. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心を慰むるもの**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「もの」＋「もがな」。「心を慰めるものがあればなあ」。

Q38. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月さやかに照ら**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「照ら」未然＋「なむ」。「月が明るく照ってほしい」。

Q39. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 一目見**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「見」未然＋「ばや」。「ひと目見たい」。

Q40. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 心ゆくまで遊び**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「遊び」連用＋「てしがな」。「心ゆくまで遊びたいなあ」。

Q41. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨止まなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「止ま」（四段「止む」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「雨が止んでほしい」。

Q42. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> もう一度会はばや。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「会は」未然＋「ばや」。「もう一度会いたい」。

Q43. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 三世の願ひもがな。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「願ひ」＋「もがな」。「三世の願いがあればなあ」。

Q44. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雪降りなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「降り」連用＋「なむ」。「雪が降ってしまうだろう」。

Q45. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 春の野に出でばや。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「出で」（下二段未然）＋「ばや」。「春の野に出たい」。

Q46. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 文を書きてしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「書き」連用＋「てしがな」。「手紙を書きたいなあ」。

Q47. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君が来**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「来（こ）」未然＋「なむ」。「君が来てほしい」。

Q48. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心安き世**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「世」＋「もがな」。「心安らかな世があればなあ」。

Q49. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> しばし眠ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「眠ら」未然＋「ばや」。「しばらく眠りたい」。

Q50. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風吹き**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「吹き」連用＋「なむ」。「風が吹いてしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。

標準編　／30

【第3部】応用編（Q51〜Q80）

係り結び・敬語・複雑な文構造を伴う問題。

Q51. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 何事も忘れ**ばや**と思ふ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「忘れ」（下二段未然）＋「ばや」。「何事も忘れたいと思う」。

Q52. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 桜散らなむ、惜しからむ。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「散ら」未然＋「なむ」。下文に「惜しからむ」とあり、散らないでほしい願いが裏に。文脈で願望と判定。

Q53. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 玉の緒よ絶えなば絶えね、ながらへば忍ぶることの弱りもぞする。

答え：係助詞「も」＋係助詞「ぞ」（危惧「〜すると困る」）。「もがな」ではない **解説**：「もぞ」は係助詞「も」＋「ぞ」で危惧の意。「もがな」ではない。識別の引っかけ。「絶えね」の「ね」は完了「ぬ」命令形（絶えてしまうなら絶えてしまえ）。

Q54. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 春を待たばや。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「待た」未然＋「ばや」。「春を待ちたい」。

Q55. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 千年も生きてしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「生き」連用＋「てしがな」。「千年も生きたいなあ」。

Q56. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> いつしか春来なむ。

答え：願望（他者）「なむ」 or 完了＋推量 **解説**：「来」が未然「こ」なら願望、連用「き」なら完了＋推量。仮名表記で「来なむ」のとき、文脈の願望意でとれば願望。

Q57. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 君と同じ志もがな。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「志」＋「もがな」。「君と同じ志があればなあ」。

Q58. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> あの人に伝へ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「伝へ」（下二段未然）＋「ばや」。「あの人に伝えたい」。

Q59. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風吹か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「吹か」未然＋「なむ」。「風が吹いてほしい」。

Q60. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御目にかかり**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「かかり」連用＋「てしがな」。「お目にかかりたいなあ」。

Q61. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 京に帰ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「帰ら」未然＋「ばや」。「京に帰りたい」。

Q62. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> あはれなる人**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「人」＋「もがな」。「心動かす人があればなあ」。

Q63. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御身安らかになりたまは**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「たまは」（四段尊敬「給ふ」未然）＋「なむ」。敬語連動の他者願望。「お身体安らかでいらっしゃってほしい」。

Q64. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 一人にて居らばや。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「居ら」（ラ変「居り」未然）＋「ばや」。「ひとりでいたい」。

Q65. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 都の様を見てしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「見」連用＋「てしがな」。「都の様子を見たいなあ」。

Q66. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御文届かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「届か」未然＋「なむ」。「お手紙が届いてほしい」。

Q67. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 風静かなる夜もがな。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「夜」＋「もがな」。「風静かな夜があればなあ」。

Q68. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御覧ぜさせ給はばや。

答え：願望（自己）「ばや」（敬語連動） **解説**：「させ給は」（使役・尊敬「させ」＋四段尊敬「給ふ」未然）＋「ばや」。「ご覧に入れたい」と尊敬を交えた自己願望。

Q69. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雲晴れなむ。

答え：（識別注意）願望「なむ」 or 完了＋推量 **解説**：「晴れ」は下二段「晴る」の未然・連用同形。文脈で判別。雲を遠ざけたい意なら願望「雲が晴れてほしい」。

Q70. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 此の人と語らひ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「語らひ」連用＋「てしがな」。「この人と語り合いたいなあ」。

Q71. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 文を書か**ばや**と思へど、暇なし。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「書か」未然＋「ばや」。「手紙を書きたいと思うけれど、暇がない」。

Q72. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御代長く続か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「続か」未然＋「なむ」。「御代が長く続いてほしい」。

Q73. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 春ごとの花**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「花」＋「もがな」。「春ごとの花があればなあ」。

Q74. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御供に侍ら**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説**：「侍ら」（ラ変「侍り」未然、謙譲）＋「ばや」。「お供に控えたい」と謙譲を交えた自己願望。

Q75. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御簾の中に入り**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「入り」連用＋「てしがな」。「御簾の中に入りたいなあ」。

Q76. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風止みなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「止み」連用＋「なむ」。「風が止んでしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。

Q77. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御文奉らばや。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説**：「奉ら」（四段「奉る」未然、謙譲）＋「ばや」。「お手紙を差し上げたい」。

Q78. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いつまでも変はらぬ友もがな。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「友」＋「もがな」。「いつまでも変わらない友があればなあ」。

Q79. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 桜の盛り過ぎなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「過ぎ」（上二段連用）＋「なむ」。連用接続→完了＋推量。「桜の盛りが過ぎてしまうだろう」。

Q80. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古今の歌を学ばばや。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「学ば」未然＋「ばや」。「古今の和歌を学びたい」。

応用編　／30

【第4部】入試レベル（Q81〜Q100）

難関大頻出パターン。複合敬語・係り結び・係り受けの注意問題。

Q81. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御目にかからばやと申す。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説**：「かから」未然＋「ばや」。下に謙譲「申す」を伴う。「お目にかかりたいと申し上げる」。

Q82. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君が御代千代に八千代に栄えなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 or 完了＋推量 **解説**：「栄え」（下二段「栄ゆ」連用・未然同形）。祈願文脈なら願望「栄えてほしい」、予測文脈なら完了＋推量「栄えるだろう」。

Q83. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典の本意を伝へてしがな。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「伝へ」（下二段連用）＋「てしがな」。「古典の本意を伝えたいなあ」。

Q84. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 風雅の心もがな。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「心」＋「もがな」。「風雅の心があればなあ」。

Q85. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 帝に奏せばや。

答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） **解説**：「奏せ」（サ変「奏す」未然、絶対敬語）＋「ばや」。「帝に奏上したい」。

Q86. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御前にて舞ひなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「舞ひ」（四段連用）＋「なむ」。「御前にて舞ってしまうだろう」。連用→完了＋推量。

Q87. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御簾を上げ**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「上げ」（下二段「上ぐ」未然）＋「ばや」。「御簾を上げたい」。

Q88. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御文をかき**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「かき」連用＋「てしがな」。「お手紙を書きたいなあ」。

Q89. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春は早く来**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説**：「来（こ）」未然＋「なむ」。「春は早く来てほしい」。

Q90. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 千歳の松**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「松」＋「もがな」。「千年の松があればなあ」。

Q91. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御身を清め**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「清め」（下二段未然）＋「ばや」。「お身体を清めたい」。

Q92. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 暮らし果て**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「果て」（下二段連用）＋「なむ」。「暮らし果ててしまうだろう」。

Q93. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古き世に生まれ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「生まれ」連用＋「てしがな」。「古き世に生まれたかったなあ」。反実仮想に近い感慨。

Q94. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> いとほしと思は**ばや**。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「思は」（四段未然）＋「ばや」。「いとおしいと思いたい」。

Q95. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月の出で**なむ**を待つ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「出で」（下二段連用）＋「なむ」、さらに連体形相当で「を」を取る。「月が出るのを待つ」。連用→完了＋推量。

Q96. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いみじき才**もがな**。

答え：願望「もがな」 **解説**：体言「才」＋「もがな」。「すばらしい才能があればなあ」。

Q97. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 都に上ら**ばや**と思ひ立つ。

答え：願望（自己）「ばや」 **解説**：「上ら」未然＋「ばや」。「都に上りたいと思い立つ」。

Q98. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御供に従ひ**てしがな**。

答え：自己強願望「てしがな」 **解説**：「従ひ」連用＋「てしがな」。「お供に従いたいなあ」。

Q99. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 我が思ふこと叶ひ**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説**：「叶ひ」連用＋「なむ」。「思うことが叶うだろう」。連用→完了＋推量。

Q100. 次の傍線部「ばや・なむ・てしがな・もがな」のうち、文中の願望表現を識別せよ。

> 都を見**ばや**、御代久しから**なむ**、心安く生き**てしがな**、よき友**もがな**。

答え：「ばや」自己願望／「なむ」他者願望／「てしがな」自己強願望／「もがな」存在願望 **解説**：4種すべてが一文に。「都を見たい／御代が久しくあってほしい／心安く生きたいなあ／よい友があればなあ」。願望表現総合問題。

入試レベル　／20

採点振り返り

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

あとがき

願望表現の識別の核心：- **未然形＋ばや** → 自己願望「〜したい」 - **未然形＋なむ** → 他者願望「〜してほしい」 - **連用形＋てしがな／にしがな** → 強い自己願望 - **体言＋もがな／がな** → 物事の存在を願う

「なむ」は **連用形＋なむ＝完了「ぬ」未然＋推量「む」** との混同に注意。「ばや」「なむ」の前の活用形を必ず確認すること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

▸古典文法の参考書のおすすめ（楽天・Amazonのリンクつき）　kotennosennsei.com/koten-bunpou-sankousho/　　▸解説記事にもどる